



（写真）Infobae “在ベネズエラ亜大使館で保護されていた野党関係者5名、米国に移動”

2025年5月5日（月曜）

政治

- 「[米裁判所 トランプ政権の CHNV 控訴を棄却](#)
～約53万人の移民 米国に引き続き滞在可～」
- 「[MCM 世界権利会議でマドゥロ政権を批判](#)」
- 「[ゴンサレス候補 急性低血圧で一次入院](#)」

経済

- 「[4月中旬から米国向け原油輸出が68%減](#)」
- 「[OVF 4月のインフレ率は先月比18.4%増](#)」
- 「[コロンビア政府 Monómeros 買収を検討](#)」

社会

- 「[民主主義ランキング ベネズエラ142位](#)」

2025年5月6日（火曜）

政治

- 「[マドゥロ政権 亜大使館保護の野党5人恩赦](#)
～MCM氏 マドゥロ政権と交渉を実施か～」
- 「[マドゥロ大統領 ロシア到着](#)」
- 「[CIA マドゥロ政権と TDA の協力関係を否定](#)」

経済

- 「[中 GWM 4カ月間で200台の新車を販売](#)
～独 Volkswagen、仏 Renault も新車販売再開～」
- 「[西 制裁ライセンス失効前に原油輸入増やす](#)」
- 「[イラクと農産品取引の拡大で合意](#)」
- 「[家電量販店 Damasco 毎月新店舗をオープン](#)」

2025年5月5日（月曜）

政治

「米裁判所 トランプ政権の CHNV 控訴を棄却
～約53万人の移民 米国に引き続き滞在可～」

5月5日 米国の控訴裁判所（第1巡回区）は、トランプ政権の控訴を棄却した。

棄却されたのは、「人道特別条件プログラム」の失効取り消し命令に対する控訴。

「人道特別条件プログラム」とは、2022年にバイデン政権が始めたもので、仮に当該国の国民が米国に長期に留するための条件を満たしていない場合でも、米国に身元引受人がいることを条件に2年間の滞在を許可するというもの。

同プログラムにより約53万人のキューバ人、ハイチ人、ニカラグア人、ベネズエラ人の米国滞在が許可されている。

なお、同プログラムはキューバ、ハイチ、ニカラグア、ベネズエラの頭文字を取って CHNV と呼ばれる。

3月21日 米国移民局（USCIS）は、米国がキューバ人、ハイチ人、ニカラグア人、ベネズエラ人に対して人道的な配慮から特別に米国での滞在を許可していた CHNV を4月24日に失効させると発表していた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1194」](#)）

しかし、4月14日 マサチューセッツ州連邦裁判所の Indira Talwani 判事は、トランプ政権による CHNV の失効取り消しを命じた。

これを受けて、トランプ政権は「国家安全保障のための政策は大統領の権限である」と主張。裁判を通じて争う姿勢を示しており、失効取り消しの撤回を求めて控訴を行ったが、今回この控訴申請が棄却された。

今回の控訴棄却を受けて、CHNV により米国に滞在している移民は米国に留まり続けることが可能になるとされる。

「MCM 世界権利会議でマドゥロ政権を批判」

ドミニカ共和国の首都サントドミンゴにて、第29回「世界権利会議」が開催され、同会議にベネズエラ野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）がオンラインで登壇した。

MCM 氏は「国際犯罪組織と犯罪組織が地域に与える影響」のパートで演説。

ベネズエラは麻薬密売の経由地になっており、麻薬密売で約80億ドルを稼いでいると主張した。

また、これらの麻薬取引には政府高官が関与しており、国を掌握する独裁政権が組織的に犯罪に加担していると訴えた。

「ゴンサレス候補 急性低血圧で一次入院」

5月5日 2024年7月28日にベネズエラで行われた大統領選で野党統一候補として選挙に出馬したエドムンド・ゴンサレス候補（75歳）が亡命先のスペインで入院した。

ゴンサレス候補は自身のソーシャルメディア・アカウントにて「ベネズエラ国民に対して、突然の血圧低下を理由に入院したことを報告する」と発表。

「幸いなことに私の体調は安定しており、スペインの国立病院で適切な医療対応を受けている」

「私はベネズエラの当選大統領であるという自身の責任を自覚している」「医師の指示を受けて私の責務を再開する」と補足した。

 EDMUNDO
GONZÁLEZ URRUTIA

Comunicado

Quiero informar a todos los venezolanos que he sido hospitalizado debido a un episodio súbito de baja tensión. Afortunadamente, **mi estado de salud es estable** y estoy recibiendo atención médica adecuada en un hospital público español.

Agradezco la excelente atención que he recibido por parte del personal médico y de enfermería. Mi familia, mis compañeros de lucha y yo, nos sentimos tranquilos al saber que estoy en buenas manos.

Estoy consciente de que mi responsabilidad ante el país como Presidente Electo requiere mi pronta recuperación, y mi reincorporación a mis responsabilidades ocurrirá de acuerdo a las indicaciones médicas.

María Corina Machado está al frente del proceso político y organizativo, liderando con firmeza y compromiso la ruta hacia el cambio que el país espera.



Edmundo González Urrutia
Presidente Electo de Venezuela

（写真）エドムンド・ゴンサレス候補 X

その翌日の5月6日 ゴンサレス候補は、体調が安定し退院したと発表。「完全に回復し、元気に満ちた状態である」と投稿した。

経 済

「4月下旬 米国向け原油輸出が68%減」

経済系メディア「Bitacora Economica」は、3月29日～4月25日までのベネズエラから米国向けの原油輸出が日量17万5000バレルだったと報じた。

特に4月19日～25日の週の米国向け原油輸出量は日量11.5万バレルで、直近の輸出量のピーク（3月8日～14日）の日量31.9万バレルから68%減になったと報じた。

過去のレポートでも触れているが、米国向け原油輸出が減少した理由は、Chevron の制裁ライセンス No.41-A 失効後の Chevron のステータスが明らかになっていないため。

制裁ライセンスの失効の仕方によっては、Chevron は4月中旬以降にベネズエラが輸出した原油の支払いが禁止されることもあるようで、PDVSA は Chevron による原油輸出許可を取り消している（「[ベネズエラ・トゥデー No.1209](#)」）。

「OVF 4月のインフレ率は先月比18.4%増」

「ベネズエラ金融観測所（OVF）」は、2025年4月のインフレ率について先月比18.4%増と発表した。

OVF が公表している過去3カ月のインフレ率は以下の通り。

2025年1月：先月比7.9%増

2025年2月：同12.8%増

2025年3月：同13.1%増

この発表が事実であれば、物価の上昇スピードが加速していることになる。

2025年1月～4月までのインフレ率は63.1%。

2024年5月～25年4月までの12カ月分の累積インフレ率は172%だった。

品目別では、

「食品・非アルコール飲料」が先月比23.2%増

「娯楽」が同20%増

「サービス」が同17.5%増

「レストラン・ホテル」が同17.4%増

「衣類・皮革製品」が同16.9%増

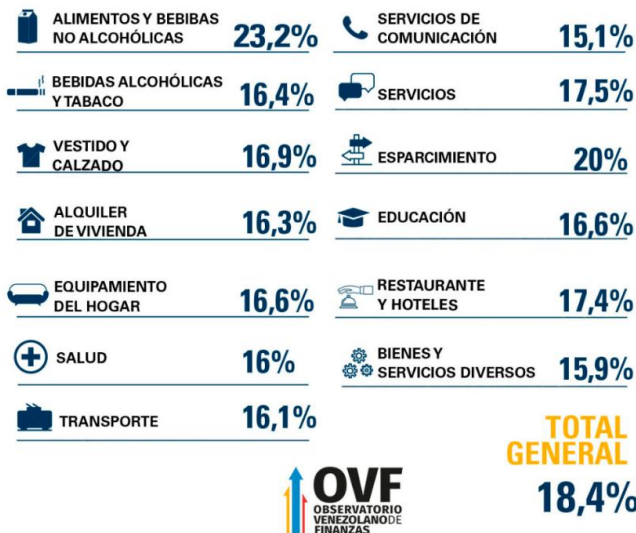
「教育」が同16.6%増

「家具」が同16.6%増

「アルコール飲料・たばこ」が同16.4%増

と続いた。

INFLACIÓN POR RUBROS

VENEZUELA
ABRIL 2025


（写真）OVF

「コロンビア政府 Monómeros 買収を検討」

コロンビアのグスタボ・ペトロ大統領は、コロンビアの政府系石油会社「Ecopetrol」が、「Monómeros」を買収する可能性について言及した。

「私の意図は Ecopetrol が（Monómeros を）購入することだ」「それが可能かどうか分からないので、私が断言することはできない」

「仮に Monómeros が Ecopetrol の傘下に入れば、85%は国がコントロールすることになる」

「Ecopetrol が Monómeros を購入することで、コロンビアの全ての農家に安価な肥料を販売することができるようになる」「そうすることにより食料価格を下げる事が可能になり、空腹の国民を減らすことができる」

「国民の実質的な収入も増えることになるだろう」

とコメントした。

なお、Monómeros の買収価格は確定していないが、2023年に当時在ベネズエラ・コロンビア代表大使を務めていた Armando Benedetti 氏は、Ecopetrol が Monómeros を購入する可能性について言及。

当時は Monómeros の買収価格について、約3億ドルと言及していた。

社 会

「民主主義ランキング ベネズエラは142位」

英国誌「エコノミスト」の調査部門エコノミスト・インテリジェンス・ユニットは、毎年「民主主義指数」を公表している。

同調査は167カ国を対象とし、「選挙過程と多元性」、「政府機能」、「政治参加」、「政治文化」、「人権擁護」の5つの部門から各国の民主主義指数を評価している。

2025年の「民主主義指数」調査では、ベネズエラは167カ国中142位（評価は10点満点中2.25）との結果が出ている。

なお、中国は145位（同2.11）、ロシアは151位（同2.03）、イランは154位（同1.96）とベネズエラよりも低く評価されている。

また、アメリカは28位で10点満点中7.85。
日本は16位で、同8.48となっている。

2025年5月6日（火曜）

政治

「マドゥロ政権 亜大使公邸保護の野党5人恩赦
～MCM氏 マドゥロ政権と交渉を実施か～」

5月6日 米国のマルコ・ルビオ国務長官は、在ベネズエラ・アルゼンチン大使公邸で保護されていた急進野党系のベネズエラ人5名が大使公邸を出て、米国に到着したと発表した。

「米国は、マドゥロ政権がカラカスのアルゼンチン大使公邸で隔離していた全ての人質の解放に成功したことを発表する」「正確なオペレーションにより、全ての人質は安全に米国に到着した」「不法なマドゥロ政権は、ベネズエラの制度を弱体化させ、人権を侵害し、地域の安全保障上の懸念材料になっている」と投稿した。



（写真）米国マルコ・ルビオ国務長官 X

2024年3月 タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、MCM氏を中心とするグループが暴動を誘発する計画を企てていると発表。

バリナス州で MCM 氏の選挙対策長を務めていた Brandt Ulloa 氏の証言映像を公表した。

この証言を基に計画に加担したとされる人物を指名手配にかけると発表。

Magalli Meda 氏、Claudia Macero 氏、Omar González 氏、Pedro Urruchurtu 氏、Humberto Villalobos 氏らは指名手配にかけられ、在ベネズエラ・アルゼンチン大使公邸に亡命した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1040](#)」）。

それから約400日間、5名は在ベネズエラ・アルゼンチン大使公邸で隔離されていたが、ついに国外に脱出できたことになる。

政治アナリストの Indira Urbaneja 氏は、今回の一件について

「MCM 氏は5人の解放のためにマドゥロ政権と交渉し、折れた」「約束が守られるかどうか注視する必要がある」とコメントしており、MCM 氏とマドゥロ政権が何らかの合意に至ったと指摘している。

「マドゥロ大統領 ロシア到着」

5月6日 マドゥロ大統領およびシリア・フローレス大統領夫人は、ロシア（モスクワ）に到着した。

5月9日に開催される「第80回 ドイツ・ナチス勝利記念日」のイベントに出席する予定となっている。

また、ロシアの Yuri Ushakov 大統領顧問は、5月7日に Vladimir Putin 大統領はマドゥロ大統領と面談し、戦略的同盟合意を締結する予定と発表している。

マドゥロ大統領は、2024年10月にもロシアのカザン地区で開催された BRICS 首脳会議でもプーチン大統領と面談している。

「CIA マドゥロ政権と TDA の協力関係を否定」

「The New York Times (NYT)」は、「中央情報局 (CIA)」がマドゥロ政権とベネズエラ系犯罪組織「Tren de Aragua (TDA)」の関係を疑問視する覚書を公表したと報じた。

NYT によると、この覚書は4月7日付で書かれたもの。

これまでも米国の複数の諜報組織が、マドゥロ政権と TDA の直接的な関係を疑問視しているとの記事が報じられているが、新たな情報が加わったことになる（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1206](#)」）。

公表された CIA の覚書には

「ベネズエラの脆弱な取り締まり環境は TDA の活動を許容しているが、マドゥロ政権は TDA と協力する方針はなく、米国での TDA の活動を支持していない可能性が高い」と書かれているという。

なお、今回の覚書の公表について CIA は「報道の自由基金」が申請した「情報自由法」に基づいた申請を受けて公開したという。

トランプ政権は、ベネズエラ不法移民をエルサルバドルの収容所へ追放する法的な根拠として「敵性外国人法」を後ろ盾にしている。

この法律は、戦時中に他国から攻撃されている状況を前提としており、「マドゥロ政権が米国に TDA を送り込み米国を侵略しようとしている」との建前で使用されている。

マドゥロ政権と TDA の関係がないのであれば、トランプ政権によるベネズエラ不法移民への敵性外国人法の適用は法律の乱用と解釈されても仕方ない。

なお、米国には CIA 以外にも諜報機関があり、CIA が前述の結論を出したからと言って、マドゥロ政権と TDA の関係が否定されたことにはならない。

ただし、トランプ政権による法律の乱用の疑惑を強める材料にはなるだろう。

経 済**「中 GWM 4 カ月間で 200 台の新車を販売****～独 Volkswagen、仏 Renault も新車販売再開～」**

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1212](#)」にて、中国の自動車メーカー「長城汽車 (GWM)」が、ベネズエラでの販売拡大のためにミランダ州グアレナに最初のディーラーをオープンしたとの記事を紹介した。

GWM の Miguel Sandoval 販売部長は、現地メディア「Ultimas Noticias」の取材に応じ、GWM のベネズエラでの現在の販売状況についてコメントした。

Sandoval 販売部長によると、2025年に入り4カ月で200台の新車を販売したという。

また、今回グアレナにオープンした代理店は正規代理店として1店舗目だが、既に全国で12の販売代理店が GWM の自動車を販売し、アフターサービスを提供しているという。

他、ドイツの「Volkswagen」についてもベネズエラで新車「T-Cross」販売を再開することになったが、Volkswagen 車の輸入は「VAS Venezuela, S.A.」という会社が行うという。

また、フランスの「Renault」も今年に入り「Kwid」というモデルの販売を開始している。Kwid はマニュアル車のみの販売で、価格は24,450ドルだという。

他にも「Logan」「Stepway」「Duster」というモデルを購入できるようだ。

「西 制裁ライセンス失効前に原油輸入増やす」

経済系メディア「FinanzasDigital」は、スペインが5月27日の制裁ライセンス失効を前にベネズエラからの原油輸入を増やしていると報じた。

スペインの「戦略石油備蓄機関（CORES）」の公表データによると、25年3月のスペインの原油輸入量は29.6万トン。スペインの原油輸入相手国として、ベネズエラは9番目だったという。

25年2月のスペインによるベネズエラからの原油輸入量は約15万トンだったので、約97%増になる。

経済調査会社「Ecoanalitica」のアレハンドロ・グリサント氏は、スペインの原油輸入増加について、「原油価格が下落したこと」と、「制裁ライセンス失効が迫っていること」が理由と指摘している。

「イラクと農産品取引の拡大で合意」

イラクの Abbas Jabr Al-Maliki 農業相と Arturo Aníbal Gallegos 在イラク・ベネズエラ大使は、農産品分野で両国の取引を拡大することで合意したと発表した。

具体的には、ベネズエラからコーヒー、カカオ、トロピカルフルーツをイラクに輸出するという。

また、畜産分野（牛）でも両国の関係を強化することで合意。具体的な内容について検討を進めることも約束したという。

ベネズエラはイランと良好な関係を維持しているが、イラクとの関係は希薄で友好国という印象はないので、意外な合意と言えるだろう。

「家電量販店 Damasco 毎月新店舗をオープン」

家電量販店「Damasco+」が積極的に新店舗をオープンしている。

直近では2週間前にカラカスの El Paraiso に新店舗をオープンした。同店舗を含めてベネズエラ国内に29店舗が存在しているという。

Simonet López 販売部長は、「2025年に入り、1月、2月、3月、4月と毎月1店舗ずつオープンしている」「2025年は毎月1店舗ずつオープンさせていきたい」と意欲を示している。

López 販売部長は、5月の母の日に向けて特別なプロモーションを実施すると説明。割賦購入が可能なアプリケーション「Cashea」で6回の分割払いをすれば、購入額の5%相当のギフトカードを贈るという。



（出所）@damascovzla

以上